

審議会等の会議記録

会議の名称	第1回 朝日町新庁舎建設基本構想策定委員会
開催日時	令和3年10月19日(火) 13時30分～15時30分
開催場所	朝日町役場 2階 大会議室
出席者氏名	<p>委員：小林 慶太郎 吉久 輝栄 東 勝久 池田 佐知子 三田 卓 山本 淑子 水谷 正秀 宮本 秀治 佐藤 修 赤塚 三重子 (敬称略)</p> <p>町長：矢野 純男 副町長：荒木 敏之</p> <p>事務局：稲垣 光政 佐藤 壽晃 田中 悟 加藤 駿 田邊 直人 葛山 稔晃</p>
傍聴人数	3名
会議の議題	新庁舎建設基本構想(案)について(概要説明及び意見交換)
会議資料の内容	<p>資料1 朝日町新庁舎建設基本構想策定委員会委員名簿 資料2 朝日町新庁舎建設基本構想策定委員会設置要綱 資料3 委員会スケジュール(予定) 資料4 朝日町新庁舎建設基本構想(案)(はじめに～整備方針の検討) 参考 朝日町まちづくり条例及び施行規則(抜粋)</p>

<p>会議における議事の経過及び発言の要旨</p>	<p>1. 開会</p>
	<p>2. 委嘱状交付</p>
	<p>3. 町長あいさつ</p>
	<p>4. 委員長及び副委員長の選出 小林委員を委員長、東委員を副委員長に選出</p>
	<p>5. 朝日町新庁舎建設基本構想策定の諮問</p>
	<p>6. 議事</p>
	<p>(1) 会議の公開について</p>
	<p>(2) 新庁舎建設基本構想(案)について(概要説明及び意見交換)</p>
	<p>事務局：(概要説明)</p>
	<p>委員：P.1「第1章はじめに」に、上位計画及び関連計画であげられているような防災計画等に関する記述がない。また、昨今言われている脱炭素やSDGsに関する記述もなく、どこかに記載すべきである。</p>
<p>事務局：SDGsやsociety5.0等の社会的に重要視されるワードを、基本構想内に記載することを検討する。</p>	
<p>委員：P.24「建替えが必要と回答した主な理由」について、現状アンケートの設問順で記載されているが、回答の多い順での記載と見えてしまう。</p>	
<p>委員：P.28「整備の視点」について、前段階までは防災等についての記述がされてきているため、整備の視点の一番上に「町民に親しまれ身近に感じる視点」とするのは不適切ではないか。</p>	
<p>委員長：記載の順番にも意味が含まれるため、並列で示すのではなく、優先順位のようなものを付けるべきという意見である。</p>	
<p>委員：中央公民館や上下水道課の機能を含む複合施設としてではなく、別々の施設として整備した方が、安く早く整備することが可能ではないか。そもそも今回の議論は、現段階の案をパッケージされたものとしてイエスカノーで判断するのか、中身について議論するのか。</p>	
<p>委員長：どの機能を盛り込むかといったトータルな観点で議論を行うという意見であるが、事務局はどうか。</p>	
<p>事務局：今回の基本構想は実施計画のようなものではなく、町民の理想となるような庁舎とするため、幅広い議論を行いたい。 防災関係が他分野と比べて優先順位は高いと考えており、場所の選定にもつながってくることから、重点を</p>	

	<p>置いた議論が必要。</p> <p>また、上下水道課・公民館についても老朽化してきており、維持していくとなると大・中規模改修が必要になってくる。これらを別々に整備する場合と、庁舎と併設又は複合化する場合のどちらが将来的に財政負担の視点から有効であるかについての検討は必要であり、基本構想の中で行いたい。</p> <p>委員：現庁舎は伊勢湾台風時に浸水した土地に建っている。各施設についておおよそ築50年経過しているため建替えは必要になってきており、いつ実施するのかという話になってくると考える。また、小学校校舎の事例を生かして、先を見据えた計画を立てることが重要である。機能や仕様について、基本構想（案）に記載されている議事堂・食堂等の機能は現在からの視点でしか書かれていない。近年は時代の変化が激しく、20年先の朝日町をイメージするのも簡単ではないため、特定の用途で作り込んでしまうと、時代の変化に建物が対応できないことから、多様な用途に対応できる建物にしていく必要があると考えるが、現在の記載内容からではそういったものが感じられない。現状の基本構想では、ごく普通の庁舎が建ってしまうと感ぜられる。</p> <p>委員：P. 27「基本方針」に財政についての記載がない。該当部分について、改めて文章を作成したので見ていただきたい。（資料配布・説明）</p> <p>委員長：今回の委員会で文言を選択している余裕はないが、事務局で検討し次回提案させていただきたい。本日の場は、様々な意見をいただく場としたい。</p> <p>委員：P. 25「建設の是非に関する意見」について、反対意見については記載のあるもの以外にも、ガードレールの整備など様々なものが聞かれる。町民にとって直接関わりのない事務スペースや電算室等について、必要諸室であることをわかりやすくすれば、反対意見も減るのではないか。</p> <p>委員長：賛成が多数といっても100%ではない。必要性について気付いていただけていない場合もある。</p> <p>委員：日赤は、災害時に送られてくる膨大な物資を置いておく場所がないこともあり、移転計画が早急に進んでいる。基本構想（案）P26（2）に記載のある防災拠点としての耐震性・機能の確保の項目を見て、これで防災拠点として機能するのか疑問である。また、縄生地区については土地が低く、避難する場所がないことから新庁舎が避難場所や支援物資を受け入れられる機能があってもいいと考える。</p> <p>委員長：実際に災害が発生した時に、何が求められるのかということを考えてい。</p>
--	---

	<p>委員：築50年たった庁舎のメンテナンスの費用が明らかになれば、反対意見は減るのではないか。また、川越町のような大きな吹き抜け空間をイメージしているかもしれないが、朝日町の土地に合わせたコンパクトなものでもいいのではないか。土地が狭く移動時間が短いので、災害時や他用途に利用したい時は別の場所を利用するとし、庁舎を連携しやすい立地とすれば、反対意見も減るのではないか。</p> <p>委員長：お金の感覚は一般の方にはわかりにくい。使い過ぎと不安になることも、あれもこれもと求めてしまうこともある。わからないなりに多くの意見をいただいた後に、現実として落とし込むのが良いのではないか。</p> <p>委員：福祉についても重点を置いていただきたい。そういった機能を庁舎に求めている。</p> <p>委員長：たくさんの場所を渡る必要のないワンストップサービスは良いと思う。</p> <p>委員：現庁舎も一応バリアフリーとはなっているが、玄関が入りづらい。子供を連れた利用者や、高齢者のような車を使わない利用者でも使いやすいような庁舎としていただきたい。</p> <p>委員：現段階の基本構想としては、全てが網羅されており、よくまとめられているという印象を受けた。朝日ヶ丘の公民館で建替計画に携わっているが、全ての要望を網羅することは不可能であり、最終的な賛成意見は93%であった。さらに最初の設計段階で予定額を上回っており、これからは機能を削る必要がある。</p> <p>委員：スケジュールはこのような感じでよいのか。今回の審議内容は機能・仕様までを予定されており、次回は規模・候補地までを決定するのか。</p> <p>事務局：このスケジュールは最短の予定であり、このスケジュールのままかどうかは不透明。スケジュールを厳守して基本構想を作成するのは望ましくなく、今後の作業の進捗状況に合わせる必要がある。</p> <p>委員長：委嘱期間は今年度いっぱいではなく、最短の目安である。機能・仕様・構造設備は、ご意見をいただいて修正をすることで、確定するというわけではない。</p> <p>委員：機能について、具体的なスペックの話ではなく基本構想の段階である。基本構想は基本構想として、しっかりと作成する必要がある。</p> <p>委員：機能・仕様・構造・設備とはあるが、最初の段階で時間の都合上、おおまかなところに絞るべきと感じた。予定は後ろ倒しにする必要がある。</p> <p>委員長：残りの審議内容は次回の12月に行いたい。整備の視点</p>
--	--

として加えたいところがあれば意見をいただきたい。

委員：あさひ園の計画の際は、どのようなものを建てるかという段階で1年かかっており、本委員会の4回というのは14回の間違ひではないかと感じられた。あさひ園では敷地が足りないことから、交代制で外で遊ぶという結果になってしまった。計画は行って戻ると反復する必要があり、4回では不足すると考える。

委員長：回数には縛られないこととしたい。

委員長：建設後の維持管理経費は記載があり、面積削減についても上位関連計画に記載がある。しかし、見えにくい。町民から無駄遣いとして思われないように。ある程度柔軟にレイアウトを変化させていけるもの、時代に対応しやすい施設を作っていく必要がある。

7. その他

(1) 第2回委員会の開催日程について (予定)

【日時】令和3年12月

【場所】朝日町役場 2階 大会議室

8. 閉会